

編集後記

■わかったこと。千葉菌の会員のみなさんは、実は、みんな、きのこである。どのきのこも、みればみるほど、おもしろく。あいたいときに、あえるとは限らなく。あえたら楽しく、うれしくて。ありがとう、きのこ。ありがとう、みなさん。(横) ■毎年あまり進歩のない私ですが今年こそベニテングタケの実物を見たいと思っています！(井) ■巷で代替わり奉祝ムードが盛んな家族の家系は(途中途切れてなかったら)2679年。きのこの家系は2億年。スケールがちがいますね。ちなみに今号掲載の「博物館ときのこ30年」は濃密な時空間がリアルに展開され、これぞ奉祝ものです。(ま) ■今回の会報は100ページの大台を超え、118ページになりました。平成最後の締めくくり。編集のしがいがありました。(山) ■いつも励まされてきた方々の悲報が相次ぎました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。思い出すのは楽しかったことばかり。きのこが繋いでくれたご縁に感謝。(公) ■今回の「博物館ときのこ30年」と題してお話しした原稿を、編集担当さんにテープ起こししていただき(ありがとうございます！)、長い話を掲載することができました。職場での仕事を振り返ることができて、今回の号はほんとうに印象深い号となりました。みなさん、どうもありがとうございます。定年となりましたが今年からまた同じ職場で再雇用として働いております。今後ともよろしく願いもうしあげます。(光)

□本誌に加え、ホームページへのご意見やご感想などありましたらお聞かせください。またご要望も受け付けております。(事務局)

ISSN 1881-9230

千葉菌類談話会通信 35号

CHIBA MYCOLOGICAL CLUB BULLETIN NO. 35

2019年3月

発行 / 千葉菌類談話会

編集 / 千葉菌類談話会編集幹事

千葉菌類談話会 連絡先

〒260 - 8682 千葉市中央区青葉町955-2

千葉県立中央博物館 吹春気付

ホームページアドレス <http://chibakin.la.coocan.jp/>